

取扱説明書 B 保証書付き

ご使用前に必ずお読みください

※取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/	BTE18X
パスキー/	0000 (ゼロを4つ)

BTE182 BTE183

Bluetoothワイヤレスイヤホンマイク

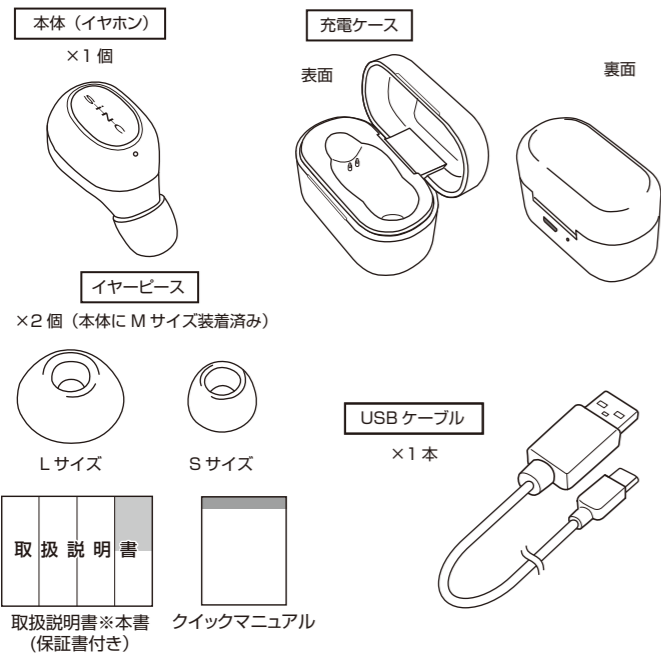
この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

A. はじめに

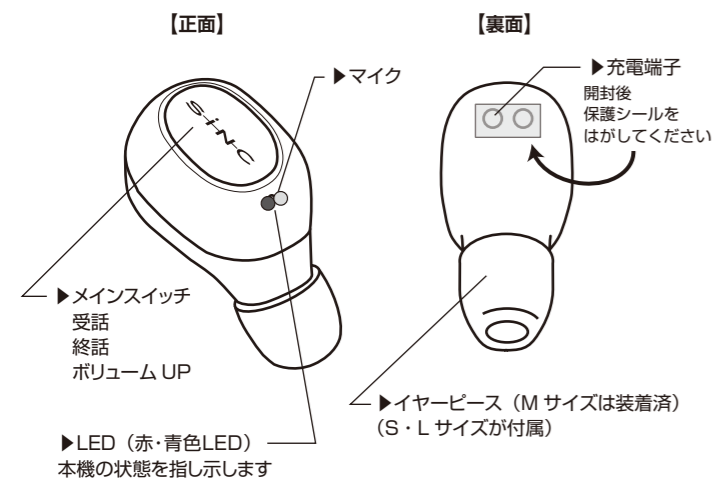
本製品はBluetooth(HFP/HSP)対応の携帯電話、スマートフォン、パソコンなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を状況により「接続機器」もしくは「携帯電話」、「スマートフォン」と表記しております。

B. 本製品の構成と名称、部品のはたらき

<本製品の構成、付属品>



<主な操作概要(本体/イヤホン)>



※イヤホンをケースから取り出すと電源が入ります。
※その他ここに記載のない機能もあります。
※全ての接続機器で全ての機能が使えるわけではありません。

C. 本製品をご使用する前に行っていただく準備

本製品をお使いになるまでの手順は以下のような流れになります。

[ご使用・取り付けの前に]

- 開封と確認
■付属品を確認してください
■保護シールをはがしてください
- 充電する
■製品をご使用前に充電してください
- 接続機器を登録・接続する
■本機をスマートフォンなどに登録して接続してください

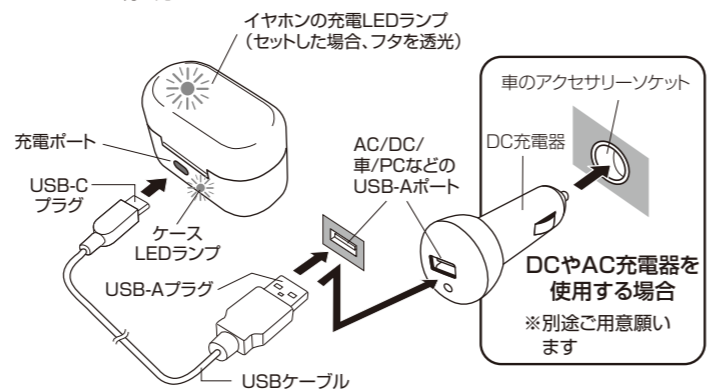
C-1. 本製品を開封し、内容物と製品に問題がないかご確認ください

- 万が一、欠落した部品があった場合や、輸送上の不慮の衝撃などが原因で破損などが認められた場合は、使用を中止し、本紙記載のお客さまサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は出荷時にイヤークリップ(Mサイズ)が取り付けられていますが、より大きいLサイズとより小さいSサイズも同梱しております。耳に合わせてイヤークリップのサイズを選んでからご使用ください。
- イヤークリップは、つまんで、やさしくねじりながら取り外して交換してください。
※無理に剥がすと、破れ、切れなど破損の原因になります。紛失、破損した場合イヤークリップだけをお買い求めいただきたい場合は、商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(お取り寄せとなります)。
- 落下の原因となりますので、イヤークリップがきちんとイヤホンのスピーカー部の根元まではまっていることを確認してから、耳にはめてください。

C-2. 本製品を充電する

充電には、必ず付属品(USBケーブル)を使用してください。付属品以外のケーブルなどをご使用になった場合や、ACもしくはDC充電器の不具合による事故がおきましては、当社ではその責任を負うことはできません。

- 本製品は充電電池を内蔵しています。工場出荷時は50~70%の充電量ですが、開封時は放電により減っている場合もありますので、ご使用前に一度満充電してお使いください。
- あらかじめ、出力5V1A以上のUSB-Aポート付き充電器を別途ご用意ください。
- ①イヤホンを一度ケースから取り出し、裏面に貼ってある透明な保護シールを剥がしてください。
- ②USBポート、プラグ内にホコリ、ゴミ、汚れ、液体の混入がないか、予めお確かめください。
- ③USBケーブルの大きい方のUSB-Aプラグを充電状態のUSBポートやAC、DC充電器にゆるく水平に挿してください。
- ④反対側のUSB-Cプラグを上下の向きに気をつけながら、充電ケースの充電ポートにゆるく水平に挿してください。
- ⑤イヤホンを充電ケースに戻してください。
※USBケーブルで充電する場合、イヤホンと充電ケースの両方を充電しはじめます。
※充電時はイヤホンのLEDが赤色点灯し、充電ケースは青色点灯をします。
※イヤホンの充電が終わると、イヤホンのLEDが赤色から青色にそして消灯し、充電完了で赤色LED点滅が赤色LED点灯になります。
※充電ケースが満充電でイヤホンに充電している場合、イヤホンのLEDは赤点灯し、充電ケースのLEDは青に光ります。



- 充電電池の劣化を防ぐため、充電が完了したら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
- イヤホンを長期間使用していないか、充電電池が完全放電した状態では、LEDが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)
- イヤホンを充電ケースにセットしない状態で充電ケースを充電している時はケースのLEDは赤点滅します。充電ケースが満充電になると赤点灯します。
※充電ケースを充電しながらイヤホンを脱着する動作を必要以上頻りに繰り返すと、充電ケースの内蔵充電電池の劣化を早めますのでご注意ください。
- ※イヤホンの内蔵充電電池の劣化を抑えるために、充電ケースにイヤホンをセットした直後数秒の間、充電を一旦保留する自動電池保護機能が搭載されています。

充電時のLEDの光り方

	イヤホン	充電ケース
LED位置		
電池状態	LED	LED
残量ゼロ	充電を開始するまでは消灯	充電を開始するまでは消灯
充電中	充電ケースは充電中赤色点滅	充電ケースは充電中赤色点滅
充電待機	青から消灯	—
満充電	充電ケースは満充電時に赤点灯	—
※いずれもイヤホンは電源オフの状態		

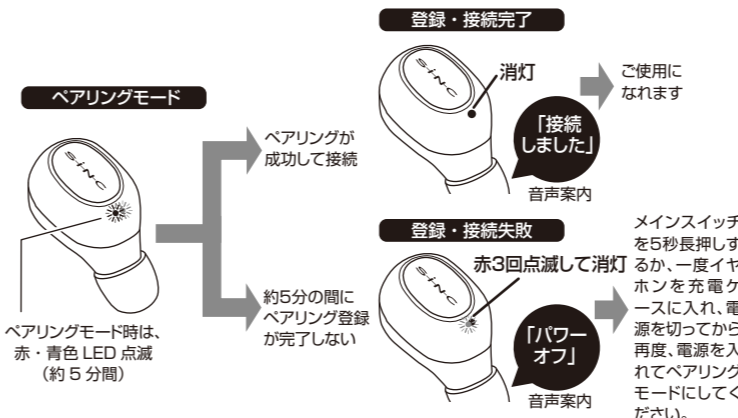
C-3. 本製品をBluetooth機能付き接続機器(携帯電話機など)に登録・接続します

本製品をはじめにご使用になる場合、接続する携帯電話機とペアリングしてください。

携帯電話機などとのペアリング(機器登録)から接続までの手順は、別紙の取扱説明書Aに詳しく記載しています。そちらも必ず参照願います。

[ペアリング(機器登録)~Bluetooth接続まで]

- <機器登録時の条件>
- ①イヤホンと携帯電話機の間には障害がないようなるべく近づけてください。(約15cm以内)
※携帯電話機に本製品以外の他のBluetooth機器が接続されている場合、一旦その機器との接続を切るか、その機器の電源を切ってください。
 - ②イヤホンをペアリングモードにしてください。
※充電ケースからイヤホンを取り外してください。LEDが青色点滅後に赤・青色点滅になり、ペアリングモードを開始します(約5分間行います)。
 - ③携帯電話機をBluetooth探索(サーチ)モードにします。本機の機種名(BTE18X)をリストアップさせます。
※携帯電話機の[設定]画面から[Bluetooth設定]を開き、[Bluetooth機能]をONにして機器の[探索(サーチ)]を選択してください。携帯電話機の機種により用語や手順が異なりますので、別紙の取扱説明書Aと携帯電話機の取扱説明書(マニュアル)も予めご確認ください。
 - ④通常、数秒から数十秒で探索の結果が携帯電話機に表示されます。本機の「BTE18X」がリストに表示されたら、タップなどの操作で選択してください。
 - ※ペアリングしたのに本製品と再接続しない場合や、ペアリングモードに移行してしまっ場合は、携帯電話機側のリストを開き、「BTE18X」を選択して手動で接続してみてください。
 - ⑤選択後、パスキー(Bluetooth認証PINコード)を要求された場合、「0000(ゼロを4つ)」を入力します。
 - ⑥数秒待つとペアリング(機器登録)が完了し、携帯電話機への機器登録が成功します。接続機器によっては、そのまま自動で接続されます。
※5分以内に登録が完了しないと、電源が自動で切れます。
※ペアリングに失敗した場合やペアリングモードが開始されない場合は、一度充電ケースに入れて電源を切ってください。それからもう一度充電ケースから出して再度ペアリングモードにしてください。



D. 製品仕様

D-1. 主な仕様諸元

本体項目	仕様	付属品仕様項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 6.0	ケーブルコネクタ仕様	USB TYPE-A プラグ USB TYPE-C プラグ
Bluetooth対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP	ケーブル露出長さ	約15cm
Bluetooth無線周波数	2.4 GHz スペクトラム	※環境温度の変化、通信状況、通信距離が長くなることで、通話時間や待機時間が極端に短くなる場合があります。 ※Bluetooth接続機器の仕様や性能によって、通信距離やバッテリー残量などは変化します。	
使用可能距離	Class 2/見通し 10 m※		
連続通話最大時間	約4時間 ※		
連続待受可能時間	約30時間 ※		
内蔵/バッテリー	リチウムポリマー電池		
接続機器表示名	BTE18X		
パスキーコード	0000 (ゼロを4つ)		
充電端子(充電ケース)	USB TYPE-C		
製品寸法・重量	H25×W15×D21 mm		
(本体、突起除く)	約4.2g		

D-2. 主な操作、電子音、LEDのはたらき

機能、状態	操作もしくは操作の結果(一部)	LED表示	音声案内
電源 ON	充電ケースからイヤホンを取り出す	—	電源が入りました
電源 OFF	メインスイッチ約5秒長押し	赤3回点滅	パワーオフ
ペアリングモード	充電ケースからイヤホンを取り出す	赤・青点滅(5分)	ペアリングモード
ペアリング失敗	5分経過した機器登録失敗した時	赤3回点滅	パワーオフ
ペアリング成功接続	5分以内にペアリングが成功した時	消灯	接続しました
待受け待機中	携帯電話機と接続している時	消灯	—
接続端末が近くにない	接続可能な携帯電話機が近くにない時	赤青色点滅	—
接続解除	接続を解除した時	赤青色点滅	接続解除しました
通話音量 UP	通話時、メインスイッチを約3秒長押し	—	—
音楽再生 / 一時停止	待受け時、メインスイッチを短く1回押し	—	—
リダイヤル	待受け時、メインスイッチを短く2回押し	—	—
Siri 起動 (iPhone)	待受け時、2秒押しして離す	—	—
着信	—	—	—
受話	着信時、メインスイッチを短く1回押し	—	—
終話	通話中、メインスイッチを短く1回押し	—	—
着信拒否	着信時、メインスイッチを約2秒長押し	—	—
リセット	※本製品にはリセット機能はありません	—	—

セイワホームページのご案内 (下のQRコードでもOK)

適宜情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひご覧ください。
<https://www.seiwa-c.co.jp>

発売元
株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

お客様サポートセンター (裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)
お客様サポートセンター ☎ 0570(039)710
受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

左記[D.製品仕様]の注意事項

- ※[D.製品仕様]は代表的な内容ですので、ご使用に差し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。
- ※[D.製品仕様]の操作、動作、LEDの点灯、電子音の発生は全ての接続機器に反映されるわけではありません。一部の機種では内容が変わる場合があります。
- ※HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。
- ※2.4GHz帯を使用する無線LAN(IEEE802.11g/d/n)との併用は、電波干渉の発生により、利用できない場合があります。
- ※Bluetooth機器は相手側との仕様の違いにより、一部の機能の動作ができない場合があります。

E. 本製品のご使用方法

E-1. 主な操作方法

●メインスイッチの主な操作は次の通りです。

■【メインスイッチ】

- 着信を受ける▶着信時、短く1回押し
- 通話を終わる▶通話時、短く1回押し
- Siri 起動 (iPhone)▶2秒押しして離す
- 音量 UP▶音楽再生時3秒以上長押し

E-2. 装着方法

●工場出荷時には本体にイヤークリップMサイズが装着済みです。まずはこちらを使って、耳の穴に軽く入れて装着してみてください。

●耳の穴に対してイヤークリップがきついうであればSサイズ、ゆるいようであれば大きいLサイズに変更してください。

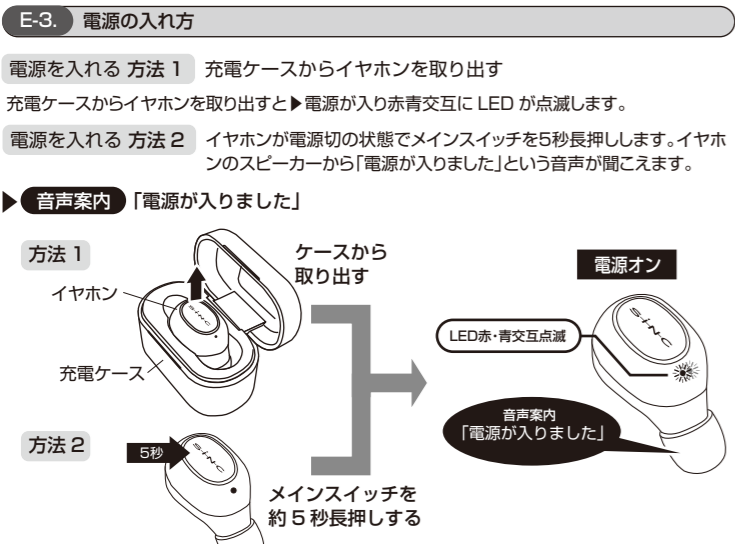
●イヤークリップは柔らかいシリコンゴムの端をつまんで、優しくくっつけて外し取り替えてください。

●本製品は両耳対応です。LED、マイク穴が前方に向くように、右図を参考に落下しないようしっかり取り付けてください。

※イヤークリップ本体を耳の凹みに乗せる感じで取り付けてください。

イヤークリップ交換はここをつまんでひっくり返して外してください

E-3. 電源の入れ方
<p>電源を入れる 方法 1 充電ケースからイヤホンを取り出す</p> <p>充電ケースからイヤホンを取り出すと▶電源が入り赤青交互にLEDが点滅します。</p> <p>電源を入れる 方法 2 イヤホンが電源切の状態ではメインスイッチを5秒長押しします。イヤホンのスピーカーから「電源が入りました」という音声が入ります。</p>
▶ 音声案内 「電源が入りました」



E-4. ペアリングの方法
<p>■ペアリング(機種登録)モードや接続をする場合のスイッチ操作は以下の通りです。 ※ペアリングや接続に関しては、別紙の取扱説明書A(②ペアリングの方法)と取扱説明書B(本書)の表面に詳しい記載があるので、そちらをご覧ください。</p>

- ペアリングモードにする方法 1** 充電ケースからイヤホンを取り外してペアリングモードにする
- ペアリングモードにする方法 2** メインスイッチを約5秒長押しして電源をオンにする

▶ 音声案内 「ペアリングモード」
<p>■充電ケースからイヤホンを取り外すと電源が入った後に「ペアリングモード」という音声が入ります。</p> <p>▶LEDが赤・青点滅を開始し、ペアリングモードに自動で移行します。</p> <p>※LEDの青点滅を確認した後、LED確認後に耳に入れても音声案内は聞こえません。</p> <p>※ペアリングモード中、何も操作しないと5分後に自動で電源がオフになります。</p>
▶ 音声案内 「接続しました」
<p>■LEDが消灯します。</p> <p>※ペアリング後に自動接続した状態では、本体の赤と青のLEDが消灯します。</p>

▶ 音声案内 「接続しました」
<p>※ペアリングされた後に手動・自動で接続機器側Bluetooth機能を切にしたり、接続機器から最大約10mの接続範囲外に出ると、ペアリングが解除されます。</p>

E-5. 電源の切り方
<p>電源を切る 方法 1 メインスイッチを約5秒長押しする</p> <p>電源を切る 方法 2 イヤホンに充電ケースに入れる</p> <p>電源を切る 方法 3 接続機器から約10m離れたら接続を手動で解除する→5分後に自動で電源が切れます</p>

▶ 音声案内 「充電してください」
<p>※イヤホン内の電池残量が少なくなると、「充電してください」と発声します。そのまま充電をせずに使用した場合、数分で電源が自動で切れます。その際は充電ケースに入れて充電を行ってください。</p>

E-6. ハンズフリー機能を使う①>～発信する

■携帯電話機の画面から発信先を表示させ、通常と同じ操作で発信してください。

電話をかけた後 本機接続状態のまま、携帯電話機側で発信操作を行ってください

■携帯電話機側で発信操作を行った後でも、必要な場合があります。その場合は発信後に携帯電話機側で次のような操作を行ってください。

通信事業者/端末機種など	操作もしくは操作の結果
iPhone	初期設定は自動接続。手動の場合は音声出力先に本機「BTE18X」を選びます
主なAndroid	初期設定は一部を除き自動接続。手動ではMenuで「Bluetooth」を選びます
Android (SHARPの一部)	Menuで「Bluetooth」を選択。端末のBluetoothメニュー設定で「常にハンズフリー」を選択すると、発信後、自動で本機に通話の受け渡しを行います
docomo 端末機種	携帯電話機で発信後、「通話ボタン」を長押ししてください
au 端末機種	携帯電話機で発信後、「E2ボタン」を押してください
SoftBankの端末機種	携帯電話機によって操作が異なります。端末の取扱説明書をご確認願います

▶ 音声案内 「発信しました」
<p>※上記はあくまで主な一例です。端末機種によりこの上記の内容以外の方法もあるので、うまく行かない場合は携帯電話機の取扱説明書をご確認願います。</p>

E-7. ハンズフリー機能を使う②>～着信時に電話を受ける、終話する
--

■着信中、本機の以下の操作で着信拒否を本機からの操作で選択できます。

電話を受ける	着信時、メインスイッチを1回押す
着信拒否する	着信時、メインスイッチを2秒間長押しする
終話を選択する	通話時、メインスイッチを1回押す

E-8. ハンズフリー機能を使う④>～最後に掛けた電話番号にもう一度発信する
--

■待受中、本製品の操作だけで携帯電話機で最後に掛けた電話番号に再発信(ラストナンバーリダイヤル/最終履歴発信番号への再発信)することができます。

ラストナンバーリダイヤル 「メインスイッチ」を連続して2回早く押す

▶ 音声案内 「発信履歴が削除されました」
<p>※携帯電話機の発信履歴が消去されるような操作を行うと、ラストナンバーリダイヤルは発信されません。</p>

E-9. 音楽を聴く

■音楽再生可能な接続機種とつないで音楽を聴く場合のスイッチ操作は以下の通りです。
※接続機種の音楽再生をする場合は、接続機種側にもA2DPが搭載され、本製品との間でA2DP接続していることが必要です。手動の接続が必要な場合がありますので、接続機種の取扱説明書をご確認願います。

音楽の再生開始	待ち受け時、メインスイッチを1回押す
音楽の一時停止	音楽再生時、メインスイッチを1回押す
音量の調整(音量UPのみ)	再生中にメインスイッチを3秒以上長押しする

E-10. イヤホンから聞こえる音量を上げる

■音楽の音量をイヤホン側で大きくすることができます。

聞こえる音量を上げる	メインスイッチを3秒以上長押しする
-------------------	-------------------

▶ 音声案内 「音量がアップしました」
<p>※音量の増加は携帯電話と連動して上がりません。</p> <p>※最大音量になるとピー音が鳴り、それ以上音量を上げられません。</p> <p>※接続機種の仕様、接続環境によっては、操作から反応までタイムラグが発生します。</p> <p>※押す時間が3秒より極端に短かったり、極端に長過ぎる場合は失敗します。</p> <p>※本製品のスイッチで音量を下げることはできません。</p>

E-11. ワンセグを試聴する

■本機はワンセグ試聴可能な機種と接続して音声を聴くことができます。
※SCMS-T方式で保護された音楽やワンセグ放送の音声に対応しています。以下の操作を行う場合は、接続機器側もA2DP対応且つ接続しており、SCMS-T方式にも対応していることが必要です。

再生開始	ワンセグ再生機側で再生
視聴の一時停止	ワンセグ再生機側で再生停止
音量の調整(音量UPのみ)	再生中にメインスイッチを3秒以上長押しする

E-12 マルチポイント(2台同時待ち受け)

■本機は同時に2台の携帯電話と接続ができます。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本機を操作して着信を受けることができます。また、片方で本機を使い通話中の場合にもう片方に着信があった場合、最初の通話を保留にして2台目の着信につないだり、イヤホンのスイッチで最初の電話を切って、2台目の着信に切り替えたりすることが可能です。

- マルチポイントについて
- ※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話(一部)はマルチポイント接続できない場合があります。また、再接続メニューがない電話機はマルチポイント接続2台のうち1台として使用できます。この場合、ペアリングは2台目にしてください。
 - ※携帯電話やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
 - 2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
 - ①1台目の携帯電話(Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話)をペアリングしてください。
 - ②携帯電話の操作により、携帯電話機のBluetooth機能をOFFにしてください。
 - ③2台目の携帯電話を1台目と同じようにペアリング完了してください。
 - ④最初にペアリングした携帯電話のBluetooth機能をONにして再接続してください。
 - ⑤2台目の携帯電話のBluetooth設定(リスト)で本機と接続状態になっているか確認してください。

※この場合1台目にペアリング登録した機種が接続順では2台目の端末となり、2台目にペアリング登録した端末が1台目に接続した端末となります(ラストナンバーリダイヤル時にご注意ください)。

※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにすると、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、上記の②から再度設定してください。

E-13. 通信可能距離から外に離れてしまった場合

- ①接続中の携帯電話が機器の通信範囲(5～10m)から離れた場合、接続(リンク)が切断します。
 - ②5分以内に通信範囲に戻れば、自動で再接続を試行します。
※接続機種や電波状態によっては5分以内でも自動で再接続しない場合があります。その場合は、携帯電話機側の接続機器画面で本機をリストから選んで再接続してください。
 - ③離れたまま連続で5分が経過すると自動で電源が切れます。この場合は10m以内に戻った時に電源を入れてから携帯電話機側の操作で再接続を行ってください。
- ※携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時に、自動で再接続しない場合は、1度充電ケースに入れて再度取り出すか、イヤホンのメインスイッチを操作して再起動してください。

取り扱い上の注意

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
- 警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	してはいけない禁止事項を示します。	必ず実行していただく指示となります。
------------------------------	-------------------	--------------------

警告	ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり物的損害を被る危険性があります。
-----------	---

本製品を火中に投下したり火元の近くでご使用になったら、充電しないでください。
爆発や破裂によって、重大な事故の原因になります。

本製品の使用温度は0～40℃。保管温度は0～50℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はおやめください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対におやめください。また、工事現場の近く、駅のホームなどの交通機関など、危険な場所では本製品のご使用を中止してください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差し、DC充電器(別売)の操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
水分にさらされたり内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に端子やポート内が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、本体や充電ケースを分解・切断しての直接配線、傷かいた状態でのご使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめください。

小さな部品(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

注意	ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。
-----------	--

お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

極端な低温での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

本製品を屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所にUSBケーブルを繋がず保管してください。

各プラグを抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

付属しているUSBケーブル以外で、充電ケースを充電しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

充電ケース及びイヤホンのLED光源を直射しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。

困った時は・・・

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないか確かめください。また、次の項目をご確認ください。

<p>以下のような症状で使用できない場合の対処法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■携帯電話で検索(サーチ)しても本機の機種名「BTE18X」が表示されない ■ペアリングは完了したが接続できない ■ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない ■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない
<p>このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。 ②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。 <p>上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BTE18X」を一旦削除し、再度ペアリングしなおしてください。それでも解消されない場合は、携帯電話機のリセットをお試しください。</p>

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	充電ケースの接点ときちんと接触されているかご確認ください。 イヤホンと充電ケースが充電できているかをご確認ください。 イヤホンの接点の汚れを拭いたり、充電ケースの接点で軽く擦ってください。
電源をオンにすると赤・青点滅になる	本機がどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングができない	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。 携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。 ペアリングをお試しください。
ペアリングモードにならない	充電ケースに入れている時間が3秒以下と短い可能性があります。 別の携帯電話とペアリングされていないか、ご確認ください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。
通話、受信ができない	携帯電話の電源とBluetooth機能がオフになっていませんか?HFPで接続がされているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。 一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にしてください。 着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押しですぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が線路しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがなければ確認してください。
通話中にノイズが聞こえない 着信音が聞こえない	携帯電話をスマホの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。 自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周囲の電波を発信する機材が近くにあったり、工業設備、アンテナ施設などが近くで稼働している場合、多くの無線機器が使われている場所などでは、電波の干渉を受け、接続が解除されたり、ノイズが入ったり、音が飛んだりする場合があります。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	Bluetooth機器で音量調整の操作をしていなくても、携帯電話機側で調整した場合はそちらの音量レベルが優先されます。接続機器側の操作状況もご確認ください。
リダイヤルできない	本機で可能な発信機能は、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります。 ※メインスイッチを短く2回押しすると自動発信します。 HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP(イヤホンプロファイル)で接続している可能性があります。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください。(※ペアリングではありません) イヤホンがOFFになっていませんか。充電ケースに入れ出して電源をONにしてください。また、携帯電話を再起動ください。
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	携帯電話機側がSCMS-T対応がどうかご確認ください。携帯電話機が対応していない場合、ワンセグ放送は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP(イヤホンプロファイル)に対応していれば接続とご使用は可能ですが、相互接続はOSやソフトウェアなどの互換性によることから保証しておりません。また、パソコンとの接続に関するサポートは一切行っておりません。
SNS(LINEなど)や動画のサイトの音声がか聞こえない	携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様依存するため、今迄使ったものがアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。サポートについては一切行っておりません。
通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電電池は消耗品です。長期間の使用(充電と放電の繰り返し)により、通話時間/スタンバイ時間は少しずつ短くなります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電電池の寿命です。充電電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
イヤホンが充電できない	工場出荷時は、イヤホンの充電端子に絶縁のための透明保護フィルムが貼られています。充電前にかがらさず剥がしてください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。
※本書に掲載の商品名及び品名は商標または登録商標です。